

# 平成24年度一般会計予算を可決

市議会第1回定例会を2月24日から3月27日までの33日間の会期で開催し、議案60件、意見書1件、陳情8件を議決しました。

2月26日には、日曜議会を開催し、多くの市民の方が傍聴される中で、施政方針に対する各党派等の代表質問を行いました。(4～6頁参照)

なお「公共調達条例」、「暴力団排除条例」の2議案は引き続き審査を行うこととなりました。

また「子どもの権利と未来を守ろう条例」についても、新たに設置されました「子どもの権利と未来を守ろう条例審査特別委員会」で引き続き審査を行うこととなりました。(10頁参照)



黒鐘公園の桜

## 賛成多数で一般会計予算を可決

議会では、議長を除く23名の議員で構成する予算特別委員会(皆川りうこ委員長、田中政義副委員長)を設置し、平成24年度予算案(一般会計と7つの特別会計)について9日間にわたり審査を行いました。

平成24年度一般会計予算(総額388億6,500万円前年度比1.4%増)は、第四次長期総合計画・後期基本計画の初年度の予算であり、「財政健全化の実現」と「災害に強いまちづくり」をめざすことを基本に、臨時財政対策債の借入れや財政調整基金の取崩しに依存しない「収支均衡型予算」として編成されたものです。

委員会においては、大幅な事業の見直しにより様々な事業が縮小、休止、廃止、統合されていることに対して、また今後の行財政運営に対し各委員より様々な視点からの見解が示され、市の考えを質しました。

主な質疑としては、市の財政フレーム(今後7年間の財政推計)には、平成21年の「国分寺都市計画事業国分寺駅北口地区第一種市街地再開発事業の施行に関する条例」の議決の際に議会が決議で求めた、新規事業に対応するための財源20億円が担保されていない、との指摘があり、市長より、議会の決議は重く受け止め、これまで財源確保に努めてきたが、経済・社会情勢も大きく変動し、市財政を取り巻く環境の悪化により、現在決議内容に応えられる財政状況にないことを理解願う、との答弁があり、また委員より、今回の収支均衡型予算は市民サービスの低下と市民負担を強いるものである。市民サービスの維持向上のため、臨時財政対策債の借入れによる財源確保を図るべきである、と質したのに対し、市長より、今後も引続き将来世代に負担を残さぬよう臨時財政対策債の借入れ

に依存しない財政運営に努めていく、との見解が示されました。

また各委員からは、3月1日市報の予算記事では、国分寺駅北口再開発事業費を含めた市財政の実態が明らかになっておらず、市民への説明責任を果たすべきとの意見、団体補助金の一律削減の手法に疑問を抱くとの意見、再開発事業を含む都市計画事業の財源確保のために都市計画税率を標準税率にするべきとの意見、今後、年少人口の減少推計を踏まえ保育園増設計画を見直すべきとの意見、旧ひかり保育園の賃貸借契約に基づく耐震工事の早期履行を求める意見、基準値を超える放射線量が検出された場合の民有地の除染対応を求める意見、OA機器借上料や電算システム運用委託費の検証と調達ガイドラインの早急策定を求める意見、図書館において市民から書籍の寄附を募るべき、など様々な見解が示されました。

さらに委員会においては、各事業の事業内容や予算の妥当性を質す質疑も交わされています。

委員会では、以上の審査を経て、一般会計予算案は賛成多数で可決し、また本会議でも同様の議決結果となりました。

(※一般会計予算に対する各党派の討論は7～9頁に、各議員の表決結果は9頁に掲載)

## 国分寺駅北口再開発事業特別会計予算を含む特別会計予算も可決

予算特別委員会では、平成24年度国分寺駅北口地区第一種市街地再開発事業特別会計予算を含む7つの特別会計についても審査を行いました。

国分寺駅北口地区第一種市街地再開発事業特別会計予算(総額92億8,318万円)は、事業着手に向けて、権利変換計画認可の取得、転出される権利者への補償、再開発ビルを建築する特定建築者の決定等、事業の本格実施に必要な事業

費を計上した予算です。

委員会における主な質疑として、委員より、再開発事業を推進するためには市民の理解を得ることが不可欠であるとの意見に対し、市長より、事業の節目節目で市民に説明する機会を設け、理解を求めていく、との答弁があり、また委員より、再開発事業パンフレット作成経費の妥当性や必要性を質したのに対し、担当より、国や都の補助金申請、特定建築者募集、市民への説明会等に活用するもので、事業を適切に説明するための資料として必要である、との答弁がありました。

さらに委員より、現在の市の財政状況等を踏まえると現計画での再開発事業は進めるべきではない、との意見に対し、市長より、現在生活面や営業面など様々な制約を受けている権利者は一刻も早い事業の開始を望んでおり、また現在の交通・防災上大変危険な状況を解消し、安全かつ快適で利便性の高い駅前を整備するため、現計画に基づいて一刻も早く再開発事業を完成させる必要がある。財政の範囲という一定の制約はあるが、事業の中止や計画を変更する状況にはなく、市民にも、十分な説明を行っていく、との発言がありました。

また委員より、権利者の声は重視すべきであるが、議会はそれのみで政策判断を行うことはできない。事業を推進させるためにも、行政、議会が知恵を出し合い議論する必要があり、今後も議論の前提となる積極的な情報提供を願う、との発言がありました。

委員会では、以上の審査を経て、国分寺駅北口地区第一種市街地再開発事業特別会計予算は賛成多数で可決し、国民健康保険特別会計予算、介護保険特別会計予算も賛成多数で、他の4特別会計予算は全員賛成で可決しました。また本会議でも同様の議決結果となりました。

(※各議員の表決結果は9頁に掲載)

次頁に続く▶